存在認められる活動

宇部高専 T&B 金重会長を再選

宇部高専テックアンドビジネスコラボレイト（T&B）の総会・交流会が13日、国際ホテル宇部で開かれた。会員50人が出席し、役員改選では金重和義会長を再選。学校のT&Bのさらなる連携強化、同校の教育・研究事業や地域連携の一層の推進を誓った。

総会で金重会長は「設立から13年目。地方経済は回復感がなく、会員数は減少を続ける中、新たな方向性を見いだす必要があると考える。地域との連携を強め、地域に存在が認められる活動を展開したい。協力を」と呼び掛けた。

引き続き講演会、交流会があり、講演会では米子高専（鳥取県）の青木薫教授が「産学連携をどうやってきたか―米子高専とわたしの事例」と題して話した。

同会は、同校の技術を活用して地域活性化を図る地域振興協力会で、地元企業関係者や個人らで2001年に発足。昨年度は交流見学会、学生への活動費補助、宇部高専シンポジウムなどの共催、インターンシップ受け入れなどに取り組んだ。

あいさつする金重会長（国際ホテル宇部で）